



皆さんこんにちは！

地域おこし協力隊集落支援担当の渡辺です。

今月号で私が担当する集落支援だよりは最後となります。5年間ご愛読いただきありがとうございました。最終号もぜひ、ご覧ください！



地域おこし協力隊 集落支援担当
わたなべ たかひろ
渡辺 貴洋 隊員

新しい地域おこし協力隊が着任

2月より、地域おこし協力隊の集落支援担当に井上朋夫隊員が加わりました。

中町集落にある町集落支援拠点施設「結くみ」の管理人を務めながら、主に奥川地区の集落支援業務を担当します。皆さんこれからよろしくお願ひします。

県事業活動報告

年度末は、大学生との交流をはじめとした集落支援活動で活用している補助事業の実績報告や来年度のさまざまな申請の対応をしています。



大学生と集落の協働による地域活性化事業 活動報告会

2月に福島県主催の活動報告会が行われました。今年度は、奥川地区で活動している「やどりぎ案内」という東京の美術大学の学生を中心としたグループと奥川地域づくり協議会の報告会に参加しました。やどりぎ案内が奥川地区で実施した屋号文化に着目したワークショップやシャツタワーアートの制作活動が注目され、優良事例に選ばれました。



▲やどりぎ案内の知事表敬訪問の様子

また、今年度発足した奥川地域づくり協議会の活動も補助金を活用している実施団体の発表団体を選ばれ、事業活動を発表する機会がありました。補助金を活用して地域づくりが行われている団体が県

内各地にいくつもある中で、今まで取り組んできた活動が多くの人に伝えられる機会をもらえたことがとても嬉しく思いました。

来年度も継続して地域活動を行っていきますので、ぜひ活動の様子をご覧ください。



▲奥川地域づくり協議会による報告の様子

最後のお便り

3月末で5年間にわたり続けてきた地域おこし協力隊の任期が終わります。それに併せて、私が担当する集落支援だよりも今月が最終号になります。本来であれば、任期は3年が最長ですが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり2年間延長して活動を続けてきました。これまで活動を続けて来られたのも、知らないことを教えてくれたり、協力してくれたりする人がいたからできたことです。

集落支援の活動を通して感じたのは、集落を成り立たせているのは紛れもなくその地域に暮らす皆さんということです。皆さんが協力し合いながら元気に長く居続けられる地域はとても強いものです。地域の人が年々減っている現状もありますが、外の人との力も借りながら互いに支え合える地域づくりが築けたらと思っています。

